

市政を問う

一 般 質 問

第4回定例会の一般質問は、12月16日、17日、18日の3日間行われ、14名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずねるため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



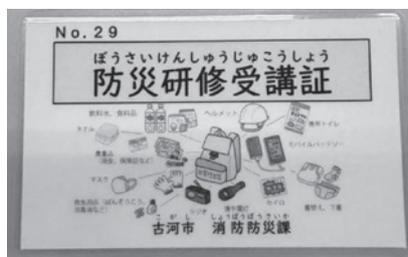
小林 登美子 議員



防災事業の実施状況について

問 ①洪水ハザードマップ作成の進捗状況等について、②在住外国人への防災支援のために実施している事業について、伺う。

答 ①令和8年2月完成予定である。今回の改訂では、避難行動の具体的な解説等を追加し、内容を充実させた。②外国人全体への防災知識の浸透を目標に、研修等を受けた外国人の方へ、防災研修受講証を交付している。



在住外国人への防災研修受講証

図書館の運営等について

問 ①図書館の存続について、②電子図書館の特色や利用状況について、③ブックスタートや読み聞かせ、おはなし会等の団体への支援について、伺う。

答 ①既存の図書館、図書室も含めたサービスを充実させていく。②インターネット環境があれば、いつでもどこでも図書を借りることができる。図書カー

ドの更新やウェブ登録の方が増えており、さらなる利用拡大に努める。③団体支援や後継者育成のため、読み聞かせ講座の開催や広報活動に努める。公民館等施設を自主練習として利用する場合、使用料を全額免除する。

遊びと育ちの場所づくりについて

問 今後の建設施設内のこどもの居場所の整備について、伺う。

答 一例として愛称「ふくろうの森プラザ」^(※)では、気軽に読書や学習等で利用できる居場所を兼ね備えている。こどもの声に耳を傾け、こどもと大人が共につくる姿勢こそが、本当の居場所や遊びと育ちの場所づくりにつながると考えている。

※令和8年3月1日に竣工した「古河市総和地域交流センター」の愛称は、同日より「TSURUTAふくろうの森プラザ」で運用開始